

NEWSLETTER



James Joyce Society of Japan, October 2024

Topics

1. 第36回研究大会のご報告
2. 新役員の紹介
3. 第37回研究大会の日程と会場
募集のお知らせ
5. *Joycean Japan*第36号投稿論文その他
募集のお知らせ
6. 会費のお振込みについて
7. コラム

事務局連絡先

〒662-8501
兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155
関西学院大学文学部
横内一雄研究室内
日本ジェイムズ・ジョイス協会事務局

連絡先: joyceanjapan@gmail.com

協会ホームページ：
<https://www.joyce-society-japan.com>



第36回研究大会（平繁佳織／撮影）

1. 第36回研究大会報告

去る6月22日（土）と23日（日）の両日、安田女子大学にて日本ジェイムズ・ジョイス協会第36回研究大会が開催されました。招待発表を含む研究発表二つ、『フィネガンズ・ウェイク』ワークショップ、そしてシンポジウムという充実したプログラムでした。地方開催のため、会員の移動の便宜を考え、試みに土日の二日開催としましたが、これが正解だったのかどうか、会員の皆様の反応を伺いながら、今後の運営を考えていきたいと思っております。今回は二日も盛況で、別々に準備された研究発表、ワークショップ、シンポジウムが不思議と関連し合う得難い機会となりました。会の企画・準備・運営に携わってくださった事務局員および運営委員の皆様、ご登壇くださった会員の皆様、また聴衆として大会を盛り上げてくださった参加者の皆様にお礼申し上げます。大会を盛り上げてくださった参加者の皆様にお礼申し上げます。

2. 新役員の紹介

常任委員改選の年に当たりましたので、6月22日の総会で以下9名の常任委員が承認されました。

河原真也、吉川信、小林広直、下楠昌哉、須川いずみ、田多良俊樹、南谷奉良、桃尾美佳、横内一雄

会長は引き続き吉川信先生にお務めいただきます。事務局長は横内一雄、会計は田多良俊樹先生が留任です。事務局員は交代となり、平繁佳織先生と新井智也先生にお務めいただきます。会計監査には小田井勝彦先生と田中恵理先生に引き続きお務めいただきます。よろしくお願いたします。

3. 第37回研究大会日程と会場

2025年度の第37回研究大会は以下の日程と会場を予定しています。

日時：2025年6月28日（土）

会場：成蹊大学（東京都武蔵野市）

4. 第37回研究大会研究発表その他 募集のお知らせ

上記第37回研究大会への研究発表を募集します。発表を希望される会員は、発表要旨を800字程度にまとめ、事務局までEメールの添付ファイル（ワード文書）でお送りください。応募の締め切りは12月末です。発表時間は20分、質疑応答は10分を予定しています。送っていただいた発表要旨は、2025年1月に開かれる常任委員会での査読を経て、採用が決定されます（司会もこの常任委員会で確定します）。

要旨査読通過者は、5月中に事務局を通じて司会者宛てに発表原稿を送ってください。なお、応募された方への査読結果等は追ってご連絡申し上げます。

なお、シンポジウム・ワークショップの企画についても随時募集しています。2026年度研究大会でのシンポジウム・ワークショップの企画については、2025年6月の常任委員会で協議されます。アイデアのある方は振るってご応募ください。

5. *Joycean Japan*第36号投稿論文その他 募集のお知らせ

Joycean Japan 第36号への論文投稿を募集します。投稿の締切は11月末日となっています。論文投稿規程は [Newsletter October 2024](#)

以下となります。

論文投稿規定

1. 投稿資格は、会費を納入している会員が有する。投稿論文は未発表のものに限る。
2. 字数・書式についてはつぎのように定める。日本語・英語の場合ともに、日本ジェイムズ・ジョイス協会のホームページに掲げる、指定のフォーマットを使用し、16ページ以内とすること（タイトル・図版・註・参考文献などを含む）。
3. 日本語原稿の場合も英語原稿の場合も、300語以内の英文サマリーを添付のこと。註や参考文献の書式は、*MLA Handbook*の最新版に基づくことを原則とする。
4. 11月末日までに、事務局に送付すること。Eメールによるファイル添付送信が望ましい。印字原稿を郵送する場合（当日消印有効）も、採用された論文については、後日デジタル情報の提出が求められる。
5. 著者校正は再校までとする。

また、ニューズレターに掲載するコラム原稿も随時募集しております。会員の皆様と共有したい情報、ジョイス研究にまつわる随想、留学報告や海外滞在記など。応募多数の場合は事務局で紙面のバランスを考え採否を決定するので、その点ご承知おきください。研究業績になるものではありませんが、記載内容には（剽窃など）十分ご注意ください。

6. 会費のお振込みについて

会費は協会の口座へのお振込みをお願い致します。

振込用紙をご利用の場合は、郵便局や金融機関に備え付けの用紙をお使いください。恐れ入りますが、お振込みの手数料は会員の皆様にご負担頂いております。ゆうちょ以外の銀行からのお振込みの場合、振込先が異なりますのでご注意ください。

一般会員 5000円 学生会員 3500円

1. ゆうちょ銀行からのお振込みの場合

名義 日本ジェイムズ・ジョイス協会
口座番号（記号）10430
番号 1854541

2. ゆうちょ以外の銀行からのお振込みの場合

名義 日本ジェイムズ・ジョイス協会
銀行名：ゆうちょ銀行
金融機関コード：9900 店番号：048
預金種目：普通
店名：〇四八店（ゼロヨンハチ店）
口座番号：0185454

7. コラム

ラフカディオ・ハーンの草稿・反故紙

吉川 信

大妻女子大学に着任してちょうど10年になりますが、学科長4年の刑期中に網膜の手術を繰り返し、何かと健康の不安が増しましたので、キリの良いところで退職を決めました。今年度をかぎりに晴れてフリーター（この和製英語、いいですね。今年広島の大会で久々に聞いて大変好きになりました）になります。

そこで学科からは最終講義と言われたのですが、学生ウケする授業を組み立てる自信も余裕もなく、お断りしました。ですがいっぽうで、10年前着任した頃から「文学部、草稿・テキスト研究所」という部局にも配置され、2度も所長をやらされ、今年度はその2度目の所長の最終年度にもあたります。

この研究所は、貴重な書籍や資料を蒐集することが主な仕事で、また年に一度シンポジウムや講演会を開催しております。われながら快挙だったのは、ノーベル賞を受賞する数ヶ月前、カズオ・イシグロの *The Remains of the Day* の初版サイン本を格安で購入したことででしょうか。どこかの省庁だかなんだかから賜れる補助金云々のことは一切存じませんが、とりあえず自分のわかる範囲で、大学の資産を増やすことには貢献できたかな、と思っております。

さて昨年のことになりますが、小川書店というところのカタログに「小泉八雲、草稿・反故紙7枚」というのがありました。研究所の資料費でなんとか賄えそうでしたから、早速落札。これまた「良い仕事をした」と満足していたのですが、買った以上解説せよ、最終講義やらないのなら丁度いいだろう、という所員の先生方からのお達し。ならばということで、今年度末の2025年2月13日（木）15時より、90分以内のところでその解説を行うことにしました。*Shadowings* 所収の“Mystery of Crowds”の一節、*Kwaidan* 所収の“Butterflies”の一節、*The Life and Letters of Lafcadio Hearn* 所収の“Intuition”の一節、*Exotics and Retrospectives* 所収の“Parfum de Jeunesse”の一節等、いずれも推敲の跡が辿れる反故紙です（面白いことに、そのうち2枚の裏面には、奥さんの墨筆による買い物のメモ書きまであります）。今夏この手書き草稿をデジタル化しましたので、Lafcadio Hearn の筆跡に触れて頂く機会になりましょう（ジョイスの字よりは若干読みやすい？かもしれません）。

研究所の研究集会は学外にも開かれますので、どなたでもご参加いただけます。近づきましたらHPに案内が出ますので、ご興味のある方はチェックしてみてください。